

令和6年度 第3学年 社会 年間指導計画・評価計画(年間 140 時間)

目標	社会的事象に関心を持ち、資料を適切に理解し、表現する技能を養うとともに、歴史的・公民的資質の基礎を培う。
----	--

評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	【領域：歴史】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	8	明治維新と立憲国家への歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・自由民権運動や大日本帝国憲法の制定についてとらえ、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。 ②明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
4	6	激動する東アジアと日清・日露戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正の歩みや日清・日露戦争についてとらえ、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 ・日清・日露戦争を通じて、日本をとりまく国際関係が変化したことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日清・日露戦争、条約改正などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本の国際的地位が向上したことを理解している。 ②議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際的な視野に立って、日本の国際的地位が向上したことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
5	6	近代の産業と文化の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・日本でも産業革命が進み、近代産業が発展したことと、それによる社会の変化について理解する。 ・学問・教育・科学・芸術の発展を背景に、近代文化が形成されたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①知日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 ②近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
5	6	第一次世界大戦と民族独立の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて理解する。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢や、大戦後に国際平和への努力がなされたことを、日本の動きと関わらせて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ②世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦による世界と日本の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	3	大正デモクラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・政党政治の確立や民主主義思想の普及、社会運動の高まりについてとらえ、大正時代に国民の政治的自覚が高まったことを理解する。 ・都市化やメディアの発達などを背景に、文化の大衆化が進んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日本の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、政党政治の展開や、社会運動の広まり、女性の社会的進出、大都市の発達や人々の生活様式や意識の変化を理解している。 ②世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、戦争による世界と日本の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第一次世界大戦前後の日本の政治・社会・文化における変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
6◆	6	恐慌から戦争へ	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の世界的な混乱が発生した原因や、各国への影響について考える。 ・昭和初期から第二次世界大戦の開戦までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民生活についてとらえ、軍部の台頭から戦争までの経過を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、軍部の台頭から戦争までの経過について理解している。 ②経済の変化と政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、二度目の世

				<p>界大戦に向かっていた理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③経済的世界的な混乱と各国への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
6◆	6	第二次世界大戦と日本の敗戦	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の開戦から終結までの各国や日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民生活についてとらえ、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 第二次世界大戦が及ぼした惨禍をふまえ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づく。 	<p>①第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、戦争の経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。</p> <p>②世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③第二次世界大戦の開戦から終結までの各国や日本の動き、そして、この大戦が及ぼした惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
6◆	5	日本の民主化と冷戦	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について理解する。 冷戦の始まりや朝鮮戦争などの世界の動きのなかで、新しい日本の建設が進められたことを理解する。 	<p>①冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>②戦後の展開と国際社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
7	5	世界の多極化と日本	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム戦争や中東戦争などの世界の動きを背景に、日本の高度経済成長が石油危機により終焉するまでの過程について、安保改定・沖縄返還・日中国交正常化などの国際社会との関わりをなかで理解する。 日本の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上したことを理解する。 	<p>①高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。</p> <p>②政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③冷戦下の国際社会の中における日本の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
7	5	冷戦の終結とこれからの日本★	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについてとらえ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解する。 環境・人権・平和などをめぐる様々な課題が残されていることに気づき、これからの未来をひらくためにどのように社会と関わればよいのかを考える。 	<p>①冷戦の終結、国際社会との関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。</p> <p>②政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

月	時間	【領域：公民】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
9◆	1 1	第1章 現代社会と私たち ☆☆	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に 	<p>①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。</p> <p>①現代社会における文化の意義や影響について理解している。</p> <p>①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。</p> <p>①人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <p>②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に</p>

			<p>わらうとさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとさせる。 	<p>関わらうとしている。</p> <p>③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとしている。</p>
9 ◆ 10	1 5	第2章 個人の尊重と日本国憲法 ☆◇	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとさせる。 	<p>①人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</p> <p>①民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</p> <p>①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとしている。</p>
10 11 ◆	2 2	第3章 現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ・地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとさせる。 	<p>①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p> <p>①議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p> <p>①国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</p> <p>①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとしている。</p>
11 ◆ 12	2 2	第4章 私たちの暮らしと経済 ★	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解させる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとさせる。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとさせる。 	<p>①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p> <p>①市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。</p> <p>①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。</p> <p>①勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</p> <p>①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</p> <p>①財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとしている。</p> <p>③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わらうとしている。</p>

1 2 ◆	1 4	第5章 地球社会と私たち☆	<p>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。</p> <p>・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。</p> <p>・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</p> <p>・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。</p>	<p>①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。</p> <p>①地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
-------------	--------	---------------	---	--

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界や日本の諸地域・歴史、現代の社会的事象についての知識を身に付けているとともに、様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	地理や歴史、現代の社会生活に関わる事象と関連付けて、地域の特色や年代、現代社会の特色を多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史、現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現や現代社会に見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・提出物 (ワークシート・ノート・問題集) ・小テスト・定期考査 等	・提出物 (ワークシート・ノート・問題集) ・定期考査 等	・提出物 (ワークシート・ノート・問題集) ・授業への取り組み 等

学習のアドバイス

<p>(1)授業態度</p> <p>①先生や他の生徒の発言なども集中して聞くとともに、しっかりメモを取り、授業中の内容をしっかりノートにまとめましょう。</p> <p>②発言や話し合いを積極的にを行い、自分の意見や考え方を人に伝えられるようにしましょう。</p> <p>(2)家庭学習</p> <p>①授業や単元ごとにワークなどを活用し、計画的な復習を心がけましょう。</p> <p>②わからない問題や間違えた問題は解答や教科書や資料集で調べるとともに、わからなければ早めに先生に質問しましょう。</p> <p>③ワークなどは複数回解くことを心掛け、知識の定着に努めましょう。</p> <p>④問題集を解く力に余裕のある人は入試の過去問など難しい問題に挑戦し、力をつけていきましょう。</p> <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <p>①年表やグラフ、図などに単元の内容をまとめると理解が深まります。</p> <p>②ワークの単元のまとめも参考にするとよいでしょう。</p>
